

# 長野県長野市（旧市内）方言における 身体感覚を表すオノマトペ

中澤敦子

## はじめに

1. 長野県長野市旧市内とは善光寺を中心に2km四方を言い、市街地、商業地である。人口は約35万、戸数は約11万である。
2. 平成3年11月4日
3. 中澤美代子 昭和5年3月3日生 61歳
4. 中澤敦子・中澤美代子宅（長野県長野市西町580番地）
5. 質問調査

\* 各項目の（）内には説明を、また、<>内には、オノマトペではないが、調査時にあらわれた語を記した。

## I 全身の感覚

### 1-1 快不快

・ザッバリ

### 1-2 寒さ

・カタカタ（言うかもしれない、という程度）

・ソクソク

・ソクソク

### 1-3 熱さ

・酒は飲まないから言わない。

・ポカポカ（共通語形カッカは言わない）

## II 皮膚の感覚

・①（海水浴はしないが、したとしたら）ヒリヒリ ②ビリビリ

・①ベトベト ②（ベトベトよりむしろ）ベタベタ ③ビッチヨリ

・①ムズムズ（虫が入った場合） ②チクチク（虫、ゴミ、木くず・枯葉が入った場合）

・ワサカサ

・①スバスバ ②シッ下リ ③ツルツル（言うかもしれない、という程度）

- ・ヒリヒリ
- ・文例のような経験があまりないのでわからない。
- ・ヒリヒリ
- ・ヒリヒリ (やけどをしたばかりでも、しばらくたっても。また、さわらなくても)
- ・ズキンズキン
- ・化膿するとあまり痛くない。化膿するまでがズキンズキンと痛い。
- ・ズキズキ (しもやけがひどくなったことがないのでわからないが、見た感じでは。) <しもやけがひどくなってイタガユイ。ひどくなると、クズレル。>

### Ⅲ 頭部の感覚

#### 3-1 頭

- ・①ズキンズキン ②ズキズキ ③ガンガン
- ・①ポーン(スル) ②ボンヤリ (①と②は同じ感じ)
- ・ポーン(スル) (のではないか。二日酔いになったことがない。)

#### 3-2 顔面

- ・①ポーン(スル) <②恥ずかしくて顔がアカクナル。> (共通語形カッカは聞けばわかる。)

#### 3-3 目

- ・ゴロゴロ
- ・<①煙くて目がシミル。> ②シヨボシヨボ (言うかもしれない)
- ・<①目にゴミが入って、チミダガデル。> ②チクチク (まつげが入った場合)
- ③ゴロゴロ (砂、虫)

#### 3-4 耳

- ・①ガーン(トスル) ②ポーン(スル)
- ・言わない。

#### 3-5 鼻

- ・ムズムズ
- ・<①鼻がツマル。 ②ハチミズガデル。> (ひとりでにツルツルツと出る。スルスルと出る。アジュグジュ。)
- ・ツーン(トスル)

#### 3-6 口

(口全体)

- ・ストベト (しかし、納豆は好きだ)
- ・<①梅干しを丸ごと食べると、口がスッパイ。 ②梅干しを丸ごと食べると、ツバガデル。> (ジワジワ下、でる。)

・<あんまり甘いものを食べたからクチアチカガアマイ。>  
(歯)

・①ガタガタ ②ガチガチ

・<①虫歯がひどくなって、歯がシミル。> ②ズキズキ ③ツーント(スル)  
(舌)

・①ヒリヒリ ②ピリピリ (①より②の方が辛い感じ)

### 3-7 喉

・①カラカラ(ダ) <②クツツキソー>

・<あくの抜けていない筈を食べて、喉がエゴイ。>

・カラカラ (空気の悪い部屋は頭がポーンスル。)

・<①息が苦しい。ムネガツマリソー。> ②ハーハースル ③ヒューヒュー

④ゼーゼー (③、④については、気管が悪いとする音。)

## IV 胴体の感覚

### 4-1 肩

・<肩が凝ってオモケルシイ。> (共通語形コリコリは言うかもしれない、程度)

### 4-2 胸

・①下キドキ ②ドキンドキン ③ドッキンドッキン

・<悲しくて悲しくて胸がツマル。> (キュウツツマル)

・ムカムカ (言うかもしれない、程度)

### 4-3 腹

(空腹)

・①グーツト ②グーグー

(満腹)

・①ゴロゴロ ②ガブガブ

・<①食べ過ぎた。腹がクルシイ。 ②イッパイ(ダ) > ③パンパン(ダ)

(腹下し)

・ゴロゴロ

・下痢気味だ。腹がキュウツトイタイ。

### 4-4 胃

・文例のような経験があまりないのでわからない。

### 4-5 尻

・ムズムズ

## V 手足の感覚

(手)

- ・ブルブル (しかし、文例のような経験はない。)

(足)

- ・ガクガク

(その他)

- ・①ヌルヌル ②ベトベト ③ヌルツト (①と③は同じ感じ。共通語形ヌラツトは、聞けばわかるが使わない。)

## VI 関節(骨)の感覚

- ・<①寝違えて首がマワラナイ。 ②寝違えて首がオレソーニイタイ。>

- ・①ボギン ②ボキボキ (共通語形パキパキは言わない)

### まとめ

共通語形と同じ語形があらわれた文例が多い。これは、調査対象地(長野県長野市旧市内)が県庁所在地、市街地であることと話者の母が東京で育ったため共通語を使う機会が多かったためであろう。

すべての文例でオノマトベがあらわれるとは限らない。話者に文例のような経験があれば、複数の語形や使用程度・状況があげられるが、経験がない、または少ない場合はあげられないようである。また、文例にあうような形容詞があれば、それがあげられる場合もある。形容詞に適切なものがあれば敢えてオノマトベを使用する必要はないのだろう。

二拍の語根を繰り返す語形が多いが、この語形のアクセントは5例を除いて頭高型となった。頭高型にならなかったものは、「——ト(デル)」型や、「——ダ」(=形容動詞)型である。

(なかざわあつこ 新潟大学教育学部4年生)